

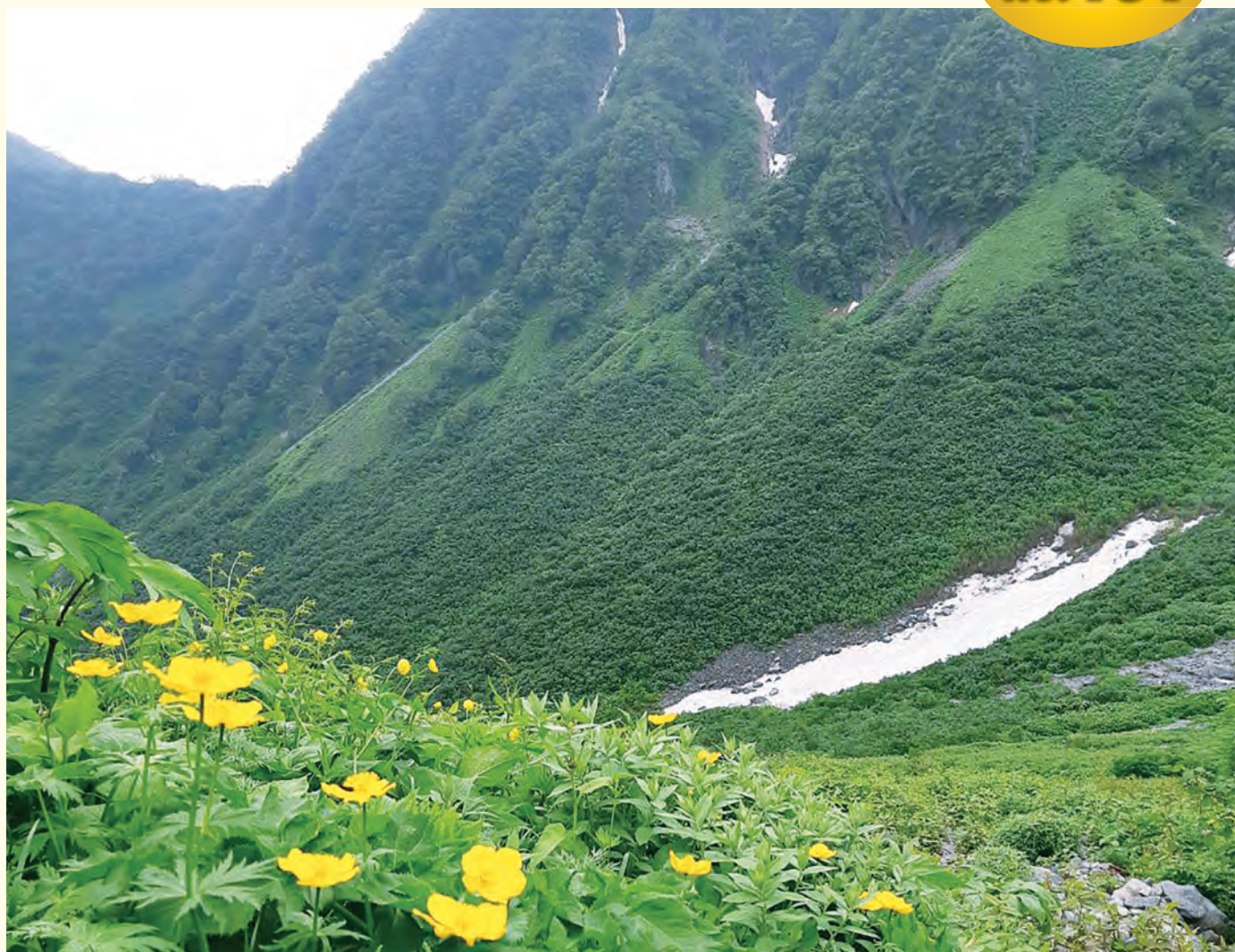
横浜北工業会々報

発行／一般社団法人横浜北工業会
組織・広報委員会

横浜市緑区中山1-24-5 なかやまラプニール会館
TEL. 045-929-5757 FAX. 045-929-5858
<http://y-kitakogyou.jp/np/hp/>
E-mail : y-kitako@arion.ocn.ne.jp

2019.8

No. 169



▲ 上高地唐沢と穂高連峰

CONTENTS

- 2・第59回 通常総会報告
- 3・平成30年度 専門委員会活動報告
- 18・2019年度 事業計画
- 25・若手会のページ
- 26・会員情報・会員状況
- 27・外国人不法就労等防止対策連絡協議会



第59回通常総会報告

第59回通常総会は、令和1年5月28日(火)に新横浜国際ホテルにおいて、会会員総数216社(令和1年5月1日現在)のうち出席者66社、委任状提出75社、合計141社(会員総数の65%)となり、総

会成立要件の過半数を満たして開催され、平成30年度事業報告及び収支決算報告・監査報告並びに令和1年度事業計画(案)・収支予算(案)が審議され、承認されました。

開会：佐藤副会長



秋本会長あいさつ



5副会長



平成30年度事業報告

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

昨年平成30年は、年始に発表された米国、中国の景気指標が高水準であったことから世界経済は簡単には崩れないとの見方が広がり、年初の取引で日経平均株価は23,500円台となり、東証一部の時価総額は、バブル最盛期よりも2割多い700兆円に増加するなど、景気回復期間が戦後2番目の長さで続いているとしていました。

しかし4月の日銀短観では、約4割の業種で人手不足の指標が過去最悪となり、これに伴って景況感も下がり景気に影響を与えるという見方や米国・中国の保護主義的な政策の応酬から貿易が停滞し、世界の景気が圧迫されることを懸念していました。

平成30年度末の平成31年3月25日、米国の長期金利が短期金利を上回る長短逆転現象が歴史的な経験則から、景気後退の兆候として捉えられ、世界の景気を敏感に表すとされている日経平均株価は今年最大の下げ幅の650円安の20,997円となりましたが、4月15日の平均株価は4か月ぶりに、22,000円台に持ち直すなど乱高下が続き、まさに景気の不透明な状態が続いた一年でありました。

北工業会の昨年を振り返ってみますと、特徴的なのは、毎年、増減数が全体として15社程度の動きがありますが、平成30年度は増減も動きが鈍く、過去、最も少ない10社(4社増、6社減)となりました。

もちろん、会員数の増減数が小幅になったことが、景況感や経営環境の厳しさを表しているかは言い切れませんが、先行きの不安に慎重な姿勢になっていると映りました。

今年は日本の書物から初めての出典となった「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められた新しい年号、令和元年が5月から始まり、明るい希望を感じます。

しかし、平成最後の年30年度は、一年以上続く米中の貿易戦争に景気後退の懸念は払しょくできず、また、働き方改革、人材不足、生産性向上、事業継承、消費税増税などの取り組まなければならない課題が控える常に先行きに不安を感じる一年となりました。



総会会場風景



監査報告

平成30年度 専門委員会活動報告

I 事業企画委員会

(佐藤副委員長、溝尻、平、関本、森田、石黒 各理事)

1. ランチョンミーティングの開催：毎月第2水曜日

昼食を取りながらリラックスした中で、講師を交えた意見交換や議論を通じて、様々な課題について共に学び、見識を深める勉強の場として定着化し、昨年は予定の年間11回開催を要望により14回開催いたしました。

●第1回 4月11日：

【中小企業の支援策と活用を考える】

(説明者) 横浜市経済局ものづくり支援課

中村課長、山本課長補佐

同 金融課 関係長

同 ライフイノベーション推進課

森田課長

同 雇用労働課

山本課長、二宮係長

横浜企業経営支援財団

坂本部長、加藤部長

横浜信用保証協会北部支所 秋月所長

(参加企業名：14社)

ニッパ(株)、(株)遠藤製作所、(株)ホープデンキ、
(株)魚のぶ、真空企業(株)、シュリーマン(株)、
(有)ロッキー化成、(株)スリーハイ、
ブレイン横浜たなべ事務所、神奈川県弁護士会、
(有)アムライズ、(株)スリーアウル、
ゼロワンブースター、横浜市工業会連合会



(参加者の感想)

平成30年度の横浜市の中小企業施策の方向性や支援策の活用を具体的にかつ行政及び融資の相談窓口である信用保証協会から直接話を聞き、また中小企業側の支援策の要望等も伝える場としても有効ではないかと感じた。

●第2回 5月9日：

【事業継承を法的な視点で考える。】

(講師) 神奈川県弁護士会 芦田一憲 弁護士
峯崎雄大 弁護士

(参加企業名：16 社)

(株)遠藤製作所、(株)ホープデンキ、東京プロト(株)
五味淵鋼鉄(株)、(株)菊伊歯車、(株)崎陽軒
ブレイン横浜たなべ事務所、社労士事務所古間屋
栄高工業(株)、(株)イシイ精機、横浜新緑総合病院
(株)静岡銀行中山支店、ゼロワンブースター、(株)オウミ
横浜市工業会連合会、横浜市経済局ものづくり支援課



(参加者の感想)

相続、株券の処理、負債の整理等複雑な権利関係を解決していかなければならない事業継承問題を分かりやすく説明を受け、時間がかかる問題なので早くから着手しないといけないことが認識できた。

●第3回 6月13日：

【人手不足時代こそ職場力強化を考える。】

(講師) 経営労務コンサルタント 牧野 正雄 氏
(参加企業名：15 社)

(株)東都冶金、(株)ホープデンキ、トーレック(株)
(株)山星製作所、ニッパ(株)、(株)井上マテリアル
ブレイン横浜たなべ事務所、社労士事務所古間屋
ISAO マネージメント、(有)アムライズ

横浜新緑総合病院、ゼロワンブースター、(株)オウミ
横浜市工業会連合会、横浜市経済局ものづくり支援課



(参加者の感想)

講師の長年の経験とノウハウをお聞きした。

●第4回 7月11日：

【再生型事業継承、第2会社方式の実例】

(講師) ISAO マネージメント代表 生井 勲 氏
(参加企業名：12 社)

東京プロト(株)、(株)ホープデンキ、栄高工業(株)
(株)ジェス、(株)遠藤製作所、(株)磯製作所
ブレイン横浜たなべ事務所、五味淵鋼鉄(株)
(株)オウミ、(株)桜エンジニアサービス
(有)アムライズ、横浜市経済局ものづくり支援課



(参加者の感想)

負債を抱えた中小企業の事業継承事案の生々しい貴重な対応の話を聞けて、勉強になった。中小企業の事業継承は、すんなりといくケースは少なく、多くは負債の整理でもあることが良く分かった。

しかし現実に対応することを考えると、専門家の助けがいる問題だと感じた。

●第5回 7月18日：

神奈川県会との協賛セミナー：川崎信用金庫
綱島支店

【AI 機械学習を社会に生かすには】

(講師) (株)エスプラス 加藤代表取締役

(北工参加企業名：5社)

(株)ホープデンキ、トーレック(株)、横浜標識(株)
光洋自動機(株)、(株)崎陽軒



(参加者の感想)

AIはデータの集積を解析する、人間は未知の世界を予測して判断することができる。

●第×回 8月8日：

【セクハラなどハラスメント問題を考える。】

(台風で延期)

●第6回 8月23日：

【ISO9000の支援と水処理システムの活用を考える。】

(ISO管理ニーズ及び水処理効果が伝わらず、参加者0のため中止)

●第7回 9月7日：

【働き方改革概論】【公正な待遇の確保と近時の裁判例】

主催：神奈川県弁護士会・日本弁護士連合会

会場：横浜市技能文化会館（中区）万代町

(参加企業：4社)

(株)オウミ、シュリーマン(株)

(株)桜エンジニアサービス、北工事務局

(参加者の感想)

働き方改革関連法の概論を労基法等の改正点、直近の判例などを法律の専門家である弁護士の方々からの解説を聞いた。

●第8回 9月12日：

【働き方改革と外国人雇用の注意点を学ぶ】

(講師) 横浜北労働基準監督署

署長	太田 真人 氏
同上 主任監督官	本間 公紀 氏
港北公共職業安定所	

所長	吉岡 恵子 氏
同上 副所長	藤松 俊樹 氏
同上 副所長	玉置 英子 氏

(参加者 23名)

シュリーマン(株)、(株)シノザワ

グロースサポート社労士事務所、(有)アムライズ

内田法律事務所、五味淵鋼鉄(株)、(株)崎陽軒

第一カーボン(株)、フジッコ(株)、(株)HNS、ニッパ(株)

内田鉄工所、横浜市工業会連合会、横浜市経済局
政策局

(参加者の感想)

働き方改革関連法の改正点及び外国人雇用の注意点を、監督官庁の立場から具体例を挙げながら説明を受けられたので、わかりやすく有意義であった。



●第9回 10月10日：

【収益力を高めるための生産管理・職場改善の進め方】

(講師)

関東職業能力開発促進センター

訓練第2課長 秋山 隆 氏

同 上 恵良 修二 氏

(参加者 14名)

グロースサポート社労士事務所、東京プロト(株)
東都冶金(株)、ニッパ(株)、(株)オウミ、(有)ロッキー化成
相互電機(株)、五味淵鋼鉄(株)、(株)ホープデンキ
横浜市経済局



(参加者の感想)

座学で生産性向上と収益を上げることの意味を学び、紙を使って原材料を調達し、製造、販売までを行い、いくら収益を上げられるか、財務諸表では気が付かない落とし穴があることを、グループで楽しく実習し学ぶことができた。

●第10回 11月14日：

【セクハラなどハラスメント問題を考える。】

(講師) グロースサポート社労士事務所

代表 田邊 雅子 氏

(参加者9名)

(株)崎陽軒、トーレック(株)、(株)桜エンジニアサービス
一幸電子工業(株)、横浜市経済局2



(参加者の感想)

セクハラは男女均等法が法的な根拠になるが、相手が男女格差やセクハラと感じ提訴された場合、否定することを立証するのは訴えられた側なので、十分に考えての言動が肝心であること。パワハラについては最近法制化の動きはあるが、現段階では根拠法令はない。具体的な例として発達障害が疑われる場合や勤怠等など日常的な部下に対する注意の適正な対応を話し合うことができて有意義であった。

●第11回 11月29日：

【待ったなし!の働き方改革法の要点と今やること】

(講師) グロースサポート社労士事務所

代表 田邊 雅子 氏

(参加者 12 名)

(株)田島精研、三吉工業(株)、真空企業(株)
シュリーマン(株)、細入事務所、一幸電子工業(株)
(株)オウミ、(株)桜エンジニアサービス
横浜市工業会連合会



(参加者の感想)

・働き方改革関連の法の施行により、年休の5日間付与の義務化、時間外労働の上限規制など、人件費の増加の課題を克服しながら、如何にリスクを軽減しながら働き方改革を実現していくのか、具体的な方法と支援策を検討するきっかけとなる勉強会だった。

●第12回 12月12日：

【台湾を中心とした海外事情】

(講師) 事業開発コンサルタント 内田 光紀 氏

(参加者 14 名)

真空企業(株)、トーレック(株)、シュリーマン(株)
(株)信和精工、第一カーボン(株)、(株)オウミ
東京プロト(株)、(有)アムライズ、ISAO マネージメント
横浜企業支援財団国際ビジネス部



(参加者の感想)

- ・現在海外市場開拓を進めようとしているので、注意すべき課題や対応策について先進企業からの事例を聞いたことは非常に参考になった。
- ・具体的な支援策も紹介され、進出候補地の選定、現地での事業協力等々も参考になった。
- ・台湾の可能性、企業の事業力、国民性は、現地活動、ネットワークの深さがなければ聞けない情報だった。

●第13回 2月13日：

【障害者雇用の先進事例を会員企業に聞く。】

(講師) 横浜市健康福祉局障害者就労支援担当

事例紹介：(株)山王 齊藤総務課長

(株)シンメイ 湯川社長

(参加者 20 名)

横浜市健康福祉局障害企画課奈良係長他3

横浜市経済局ものづくり支援課

(株)山王、(株)シンメイ、トーレック(株)、ニッパ(株)
栄高工業(株)、(株)崎陽軒、(有)日生自動車、(有)美光技研
横浜市工業会連合会、港北公共職業安定所
(株)静岡銀行中山支店、NPO法人びーのびーの



(参加者の感想)

- ・障害者の雇用を実践している企業の意識改革、障害者の能力の活用についての考え方は、特別ではない日常として行われていることに非常に勉強になった。
- ・行政、ハローワーク、NPOを団体等それぞれの立場から関わっているお話を聞くことができ、障害者に関する視野が広がった。

●第14回 3月14日(木) 12:30～:

慶應大学産学交流ランチョンセミナー

【慶應大学・横浜市経済局・横浜北工業会産学連携事業】

テーマ:「真田家当主から見た、経営とは:真田家の歴史的変遷」

講師:慶應大学 真田 幸俊 教授

(真田家第14代当主)

(参加者21名)

慶應大学2、グロースサポート社労士事務所
トーレック(株)、ニッパ(株)、きらぼし銀行2
(株)オウミ、相互電機(株)、(株)ジェス、東京プロト(株)
神奈川工業会2、横浜市工業会連合会2
横浜企業経営支援財団2、横浜市経済局4

(参加者の感想)

真田家と言えば武勇の家柄をイメージするが、大大名に挟まれた小国として、命を懸けた厳しい選択を繰り返し、いかに生きぬいたのか、代々引き継がれてきた歴史に基づいたお話は、聞きたくとも聞けない貴重な機会であった。

2. 慶應大学・横浜市・北工業会産官学連携事業

平成27年度から始まった慶應大学との産学連携事業は、4年目となり一つの区切りを迎えました。この間、慶應大学の研究シーズと紹介や産学連携事業に参加する中で、具体的な共同研究や慶應大学が独自にこの協約を契機に、研究者と中小企業との連携を進めるために研究者に助成する制度を創設し、具体的な成果に結びつけるべく努めています。(平成30年度事業)

- ① 松本教授との産学連携による新事業開発の継続: JST助成金活用事業
- ② 慶應大学教授によるセミナー開催の検討(詳細前記3月ランチョンに掲載)

なお横浜市、慶應大学と話し合い、連携協定を令和1年度から2年延長しました。

3. 市内の大学、研究機関等との交流に加え、引き続き友誼団体との連携を強化

- ① 桐蔭横浜大学大学院工学研究科との産学連携の推進
- ② 一般社団法人横浜市工業会連合会の各種事業への参加
- ③ 公益財団法人横浜企業経営支援財団経営支援部(産学連携課)との連携
- ④ 東工大横浜ベンチャープラザとの連携
- ⑤ 神奈川法人会とのセミナー連携
- ⑥ 横浜商工会議所北部支部・みどり支部との連携

Ⅱ 工業振興委員会

(安永副会長、宮本、田島、寒河江、近藤、鈴木 各理事)

1. 北杜市企業交流会 (第4回) :

10月24日(水) 実施

今年で4年目を迎えた北杜市企業との事業連携は、親近感が増し交流が深まっています。

今年は10月24日に北杜市の企業9社及び北杜市役所の計12名が来浜され、北工業会からは13社16名が参加し総勢28名で開催されました。

第一部は北杜市企業が北工業会会員企業2社：(株)オウミ、ニッパ(株)を視察。

オウミ社を視察する北杜市企業



ニッパ社を視察する北杜市企業



第二部は、新横浜グレイスホテルにて昼食、参加企業の事業紹介・意見交換を行い、終始、親密な雰囲気の中で開催されました。

具体的には、すでに取り引のある企業が2社あり、また事業連携のお話もあり後日、訪問し打合せをするケースも生まれました。

具体的な事業連携は簡単ではないと思いますが、交流を重ねることによりお互いに仲間意識が強くなっています。



交流会



参加者集合写真

(参加者名簿)

北杜市企業交流会 12人 敬称略		
企業名	役職	氏名
(株)ミラプロ	取締役会長	津金洋一
(株)桂精機製作所	副工場長	永井洋志
(株)ニットノ	代表取締役	入戸野一明
国土興産(株)	専務取締役	浅川 幹
(株)キッツ	総務人事 グループ長	小林典孝
(有)藤森電機工業	代表取締役	藤森孝之
(有)シミズ写真館	代表取締役	清水正敏
(株)清水製作所	代表取締役	清水鐵朗
医療法人黎生会 フルリールむかわ	副理事長	中込 敏
北杜市役所	商工・食農課課長	平井ひろ江
北杜市役所	商工・食農課	日向 勝
北杜市役所	商工・食農課	中村賢弥

横浜北工業会 16人 敬称略		
企業名	役職	氏名
ニッパ(株)	代表取締役会長	秋本順生
トーレック(株)	代表取締役	佐藤公悦
東京プロト(株)	代表取締役	平良重男
(株)遠藤製作所	代表取締役	向後英夫
一幸電子工業(株)	取締役室長	見尾田貴昭
(株)オウミ	代表取締役社長	中島和紀
(株)田島精研	代表取締役	田島圭一
横浜高周波工業(株)	専務取締役	寒河江勝人
光洋自動機(株)	相談役	鈴木國雄
杉谷工機(株)	代表取締役副社長	杉谷啓吉
(有)アムライズ	代表取締役	鈴木利尚
(株)ホープデンキ	代表取締役	加藤 亮
(株)井上マテリアル	代表取締役	井上英之
横浜市工業会連合会	専務理事	川崎圭子
北工事務局	専務理事	長島敏晴
北工事務局	事務局職員	天野成美

2. 慶応大学・横浜市・北工業会産官学連携（事業企画委員会との共管）

前記事業企画委員会事業に掲載

3. 地元議員との意見交換（第3回目）

中小企業の現状にあった支援策の実施等に資するため、地元議員との北工業会役員との忌憚のない意見交換の機会を設けます。

第3回目となる今年度は横浜市議会自民党議員団と調整をしてきましたが、当初の11月の開催予定が前倒しになり、平成30年8月3日（金）に開催いたしました。

日程としては自民党議員団23名が、会員企業の（株）オウミとアネスト岩田（株）の2社を視察、視察後に、企業の特性や事業実績及び中小製造業の現状について意見交換をしました。

（1）（株）オウミ社の視察

（13：50～14：30 説明：中島社長）

●トラック部品の一貫した製造ラインや金型の保管場所等を視察

オウミ社を視察する議員団



（2）アネスト岩田（株）社の視察

（14：40～15：30 説明：壺田社長）

コンプレッサーを主力製品として塗装技術分野、医療分野等で世界・国内のリーダーカンパニーとして躍進している企業実績を視察。

アネスト岩田（株）：壺田社長の事業概要の説明と視察をする議員団



（3）意見交換会

（15：35～16：15：アネスト岩田（株））

- ① 受注価格の厳しさ、短納期の発注による残業時間の増加による人件費増、慢性的な人手不足、働き方改革などの中小企業の現状が報告されました。
- ② 世界でトップシェアを獲得する企業の経営理念が分かりやすく説明されました。
- ③ 議員からは、高度に都市化した横浜で、製造業の立地環境の確保について尽力されていることも報告されました。

中小製造業の現状説明：（株）オウミ 中島社長



議会活動等報告：横山横浜市議会自由民主党団長



4. 生産環境整備事業

地域経済の発展に寄与するため、神奈川県、横浜市をはじめ関係行政機関に対して企業経営や立地環境改善に関する意見・要望等を積極的に行い、会員企業の良好な生産環境の整備を進めてまいります。

(1) 平成31年度横浜市産業振興に関する要望 (平成30年10月30日)

- ・助成制度や融資制度の拡充など中小企業支援策に関する要望

6月～9月にかけて横浜市工業会連合会に地域工業会から委員を選出し、横浜市の予算要望をまとめ、横浜市長に直接手交しました。



(2) テクニカルショウヨコハマ2019開催

2月6日(水)～8日(金)までの3日間、パシフィコ横浜(みなとみらい地区)で神奈川県下最大の工業技術・製品総合見本市「テクニカルショウヨコハマ2019」が開催され、初日、底冷えのする雨天にもかかわらず3日間の来場者は、例年通り3万5千人を超えました。



横浜北工業会からは、横浜市経済局、横浜市工業会連合会、港北区役所、都筑区役所の支援を受けて出展するほか個別に出展し、昨年と同数の合計27社が、新たな顧客開拓に向け、自社の技術・製品の紹介をしました。



(出展をされた北工会員企業：28社)

(株)イシイ精機、(株)魚のぶ(株)、(株)エイト工業
(株)オウミ、(株)オースズ、(株)関東精密、(株)崎陽軒
(有)金田製作所、(株)キョーワハーツ
コダマコーポレーション(株)、(株)信和精工
シュリーマン(株)、(株)スズミ、(株)スリーハイ
善友印刷(株)、相互電機(株)、(株)田島精研
(株)第一鉸製作所、(株)中越工業、東京プロト(株)
ニッパ(株)、日本軸受加工(株)、(株)ミカワ精機
(株)ミナミ技研

Ⅲ 厚生委員会

(加藤副会長、村松、椿、尾田、田中、佐々木、高橋 各理事)

1. 平成 30 年度横浜市優良工業事業所及び優良工業従事者表彰(市長表彰)並びに優良従業員会長表彰の開催

横浜市長表彰は、市内優良工業事業所として北工業会からは2社、過去に会長表彰を受けられた従業員の方の中から、受賞後の企業でのご功績が認められた1名の方々がそれぞれの部門で受賞いたしました。

また横浜北工業会会長表彰は、選考委員会で日頃のご努力、ご功績が評価され、6社8人の従業員の方々の受賞が決定されました。

(1) 横浜市優良工業事業所(2社)

(永年会員企業：敬称略)

事業所名	
① 宝電機工業(株)	緑区上山1-4-2
② (株)磯製作所	港北区新羽町914

(2) 横浜市優良工業従事者(1名) (敬称略)

被表彰者名	企業名	勤続年数	企業所在地
古泉 博文	(株)互省製作所	26	港北区樽町3-8-1

(3) 優良従業員会長表彰(8名) (順不同・敬称略)

被表彰者名	企業名	勤続年数	企業所在地
①橋谷田裕司	(株)互省製作所	22	港北区樽町3-8-1
②堀井 衡	〃	22	〃
③中山 正捻	ニッパ(株)	17	港北区新羽町1508
④齊藤 光一	第一カーボン(株)	12	都筑区池辺町3888
⑤高山 広行	〃	12	〃
⑥ジャヤレイラニー	アジア物性材料(株)	19	緑区中山町1200
⑦五味 義信	一幸電子工業(株)	23	青葉区荏田町1231-1
⑧板羽 益栄	(株)桜エンジニアサービス	16	都筑区川向町922-43

受彰者 11 人と横浜市平沼部長・秋本会長



謝辞を述べる受賞者代表 古泉氏



2. 従業員親睦ボウリング大会の開催

平成 30 年 10 月 26 日(金) 19:00 から、川崎「タチバナボウル」で開催

昨年 10 名が増え合計で 56 名が参加したボウリング大会は、今年はさらに 8 名増加し、64 名が参加して活気溢れ、和気あいあいとした雰囲気の中でゲームを楽しんでいました。

この大会も第 23 回目を数えますが、長い時間が経過しても毎年多くの従業員の方が楽しんで参加するイベントとなっています。

これも毎年変わらず協賛企業の皆様が、参加する従業員の方々のために賞品を提供して頂いているおかげで盛り上がっていると、深く感謝いたしております。

【平成 30 年度の協賛企業ご支援の内容】

山崎製パン(株) ランチパック・コッペパン・薄皮ミニパンの3点：75セット
フジッコ(株) お惣菜の4点：75セット
アサヒ飲料販売(株) } お茶ペットボトル合計80本
東京キリンビバレッジサービス(株)
横浜高周波工業(株) 浴用タオル 5組

東京プロト(株) スタバ商品券 2組
 ニッパ(株) 参加賞を入れる袋 90 枚・ティッシュ
 100 箱
 ごみ袋 45 L 10 枚 : 90 セット、

第一カーボン(株) ワイン 16 本
 シュリーマン(株) ボールペン 70 本
 一幸電子工業(株) 体重・組成計 1 本
 (株)桜エンジニアサービス モバイル充電器 3 本

●参加 11 社の企業別の写真（会社名のみ表示）

加藤厚生委員長あいさつ



男子優勝～3位・女子優勝者



村松厚生副委員長あいさつ



男子：第3位加藤さん、第2位宮田さん、優勝 顧さん、女子優勝：豊岡さん

ジェス



横浜高周波



フジッコ



ホープデンキ・相互電機



アサヒ飲料



一幸電子工業



第一カーボン



互省製作所



シュリーマン・時久組



宮川製作所



東京プロト



桜エンジニアサービス



3. 親睦ゴルフ大会の開催

平成 30 年 11 月 7 日(水) ニュー南総ゴルフ倶楽部(千葉県)において、15 名が参加され開催されました。

いつも参加者から聞かれることですが、北工のゴルフは気心が知れた仲間とのゴルフだから、とても楽しいと言っています。

(賞品協賛企業)

○第一カーボン(株) ワイン 6 本

○東京プロト(株) 商品券

参加者



交流風景



優勝カップ授与：山下さん



4. 定期健康診断・成人病検診等の促進

横浜新緑総合病院、横浜鶴ヶ峰病院の協力による従業員の定期健康診断及び成人病検診の促進

5. 会員企業に対する労務・税務等の問題の解決のための相談体制

昨年度整備した相談体制をHPで紹介し会員のセーフティネットとしての活用を促進する。

- ①企業の就業規則等労務問題、個人の老後計画・年金問題：山口社会保険労務士事務所、グロースサポートたなべ社労士事務所
- ②特許出願代理事務：黒田国際特許事務所
- ③法人税・消費税・相続税等全般：酒井公認会計士・税理士事務所
- ④ファイナンシャルプラン、老後の生活計画：ハーバーウェルスマネジメント
- ⑤法理関係問題：内田憲宏弁護士事務所（芦田弁護士）

Ⅳ 組織・広報委員会

(平良委員長、中島、大野、堺、廣井、計屋各理事)

会員企業への働きかけ意識の共有 ⇒ 事業参加の呼びかけ・参加促進

★平成 30 年度会員数：215 社 ⇒ 入会 4 社、退会 6 社 ⇒ **213 社 (2 社減)**

1. 平成 31 年新年賀詞交歓会、盛会裡に開催される！！

平成 31 年 1 月 29 日(火) 午後 5 時から「ソシア 21」において、昨年を若干上回る多数の方の参加を得て、大変に盛り上がった平成 31 年新年賀詞交歓会となりました。

景気の回復は平成 31 年 1 月までに戦後最長の 74 か月継続していると発表されましたが、大半の中小企業は好景気を実感していない状況で、特に今年は慢性的な人手不足、働き方改革、消費税増税などの難課題を控えている状況下での開催でした。

会員企業の参加数としては、例年を超える 79 名の方に参加していただきました。

また、ご来賓は、国会、神奈川県議会、横浜市議会議員の方 31 名、官公庁からは横浜労働基準監督署長、横浜市経済局長及び港北、緑、都筑、青葉区役所ほか 13 名の方、友誼団体からは 22 団体 27 名の皆様のご来臨を賜り、直近では最高の総勢 150 人の方々による新年に相応しい大いに盛り上がりのある賀詞交歓会となりました。

受付風景



来賓のあいさつ風景



賀詞交歓会の開催に向けては、工業会の5つの専門委員会（総務、組織・広報、事業企画、工業振興、厚生）の各委員会で、参加して頂く会員企業の立場に立った運営方法等を検討し、昨年からの実施し3年目となりました。

(1) 近隣の企業間の交流を重視し、また、自席を明確にするために「支部別席」とし、併せて来賓の「議員」の方も支部の会員企業と親しく交流していただくために同じ席とさせていただきました。

(2) 会員の席は、支部別席とし3色に色分けすることで会場内での居場所を明確にし、(港北区:ピンク・都筑区:オレンジ・緑区、青葉区:グリーン)、また、受付の際に渡し胸プレートの色と合わせて工夫し他の方にも企業の所在区が分かるようになりました。

(3) 来賓席はお忙しい中ご出席をいただいているので、途中退席により会員席と比べて空席が目立つため、神奈川県議会、横浜市議会議員の皆様にも、選挙区別に着席していただき、同じ地域の会員企業との交流が図れるようにいたしました。

乾杯：小野崎緑区長



交流風景



午後7時を過ぎても宴はたけなわでしたが、加藤副会長の中締めの挨拶をもって平成31年新年賀詞交歓会を終了させていただきました。

お忙しい中ご出席頂いた会員の皆さん、そしてご来賓の皆様にご心から感謝いたします

(賀詞交歓会・総会懇親会で実施した参加企業への配慮事項)

- ・席は、交流しやすいよう地域別にした。(好評)
- ・地域別名札で識別できるようにした。
- ・理事はリボンをつけて、分かりやすくし、ホスト役を務めた。

※賀詞交歓会・総会とも150人規模

2. 実施事業等への参加促進

ランチョンミーティング、慶応大学産学連携事業、他都市交流。賀詞交歓会等への積極的参加及び会員企業の参加のお誘い

3. 情報発信・提供に積極的に取り組む：HPのリニューアル（継続重点事業）

4. 事務局受発注マッチングの実施：10件中成立1件

10件（製造：6件、機器購入1：その他3件）事務局への依頼

5. 理事による退会企業との協議

平成30年度はなし

6. 新入会員と理事・監事の懇談会

毎年恒例となっています平成30年4月2日から平成31年3月31日までの新入会員となられた企業と理事監事との懇談会を平成31年3月28日(木)17時から新横浜グレイスホテルにおいて開催しました。

新入会員3社全員（株）HNS、フィリップモリスジャパン、（株）きらぼし銀行中山支店}に参加していただき、北工理事監事20名と和やかな雰囲気の中で交流いたしました。

新入会員の方々の挨拶

(株) HNS 様



フィリップモリス
ジャパン様



(株)きらぼし銀行様



7. 広報活動

(1) 会報の発行：年2回保存用として紙ベースの会報を継続して発行

①8月号（年間事業実施計画）と2月号（事業の振り返り・新年度事業検討）

②表紙のみカラー刷り・写真を取り入れ、わかりやすい記事

(2) 緑区版タウンニュースの会員企業紹介記事掲載

緑・青葉区内会員企業（遠藤製作所、フジッコ、加藤電機、日東化成、シンメイ、海内工業、一幸電子工業、ミドリデンコ）取材記事を掲載。今後も継続。

※令和1年度からは、タウンニュース都筑区版も取材掲載（第一カーボン）始まります。

8. 今後の取り組みの方向性

(1) 会員貢献事業の実績を積み、新規会員の開拓：役員全体で共有し活動

(2) 新規事業の実施後、「入会案内」のリニューアル

V 総務委員会

（平良副会長、横井、滝本、荻野、齊藤、奥山、下中 各理事）

1. ホームページによる情報提供の充実

（組織広報委員会共管事業）

事務局でHPの記事掲載を自主作成できるよう技術を習得し、常時最新の情報を掲載するよう努める。

(1) 一般記事

①事業開催予定・開催結果概要 ②会報

(2) パスワード設定による会員専用ページは、調査の結果、多くの団体で費用対効果を考えると期待されるほどの効果はないとの結果を得たので、当面保留としました。

2. 会員との連絡方法の検討

（組織広報委員会共管事業）

主たる連絡方法をメールにできる企業及び会員

企業の工業会窓口（担当者の方）を調査し、工業会の活動状況を適宜伝わる環境の整備を目指す。

現状の会員への連絡は、全会員の場合は（219社）にファックス：年間約50回

（ランチョン、ボウリング、ゴルフ、総会、賀詞交歓会等の案内、情報提供）

※会員企業の意向調査の実施（平成31年3月31日現在の結果）

●メール希望企業：理事監事34名、29社 合計63社

●ファックス希望企業：150社

現段階では、メールに移行するまでの結果には至らなかったが、毎年3月に担当者の方の異動もあるので調査し、会員企業の希望に沿う連絡方法を引き続き検討します。

3. 「働き甲斐のある職場づくり：中小企業現場での働き方改革」等の推進

横浜北労働基準監督署、ハローワーク港北、神奈川県労働局との協力

4. 地域諸施策支援事業

一般社団法人への移行に伴う公益目的事業として地域社会の発展に貢献するため、区役所などの行政機関や各種地域団体等が実施する事業への参加協力を積極的に行っています。（全体では年間約150会議）

具体的な実施内容としては、①神奈川労働局・横浜北労働基準監督署が推進する働き方改革、労務災害防止等への協力 ②横浜北労働基準監督署が主催する「労働基準関係団体会議」への参加 ③港北、緑、青葉、都筑の各区（以下：区域内とする。）警察署と連携し外国人不法就労等防止対策協議会を設置 ④区域内区役所及び行政関連機関（選挙管理委員会等）が設置する各種委員会・協議会・行事への参加 ⑤区域内消防署の啓発事業への参加・協力 ⑥法人会等の区域内公益団体が実施する事業への参加・協力 ⑦陸上自衛隊神奈川援護懇話会、神奈川県日赤紺綬会への参加・協力 ⑧神奈川県、横浜市、横浜市工業会連合会と

連携した産業振興施策の推進 ⑨ごみの減量化、地球温暖化対策等の推進団体の事業への参加・協力 ⑩障害者雇用の啓発等への参加・協力、会費・協賛金等による協力などにより、地域経済の振興と地域社会への貢献に努めてまいります。

5. 総会・理事会の運営

(1) 平成 30 年度第 58 回通常総会

(平成 30 年 5 月 29 日開催)

第 58 回通常総会が、会員総数 217 社のうち出席者 65 社、委任状提出 77 社、合計 142 社 (65.4%) で新横浜国際ホテルにおいて開催され、平成 29 年度事業報告及び収支決算報告・監査報告並びに平成 30 年度事業計画(案)・収支予算(案)が審議され承認されました。なお懇親会には、来賓・関係機関からもご参加いただき総勢 160 名を超え盛会理に開催されました。

総会審議風景



懇親会風景



(2) 平成 30 年度理事会

(定例会年 3 回開催：○主な議題)

①第 1 回(平成 30 年 5 月 15 日：出席 理事 20 / 34・監事 2 / 2)

○平成 29 年度事業報告及び決算・平成 29 年度予算

②第 2 回(平成 30 年 5 月 29 日：出席 理事 30 / 34・監事 2 / 2)

○理事監事の選任

③第 3 回(平成 30 年 11 月 27 日：出席 理事

20 / 34・監事 2 / 2)

○平成 30 年度事業中間振り返り

③第 4 回(平成 31 年 3 月 28 日：出席 理事 21 / 34・監事 1 / 2)

○平成 31 年度事業計画及び暫定予算

理事会全景



審議状況



(3) 専門委員会活動

副会長が委員長となり、理事を委員として組織され、決算、事業の中間振り返り、新年度事業・予算などの節目の時に年 2 回開催し、活性化に向け議論をしている。

6. 若手会活動の支援

北工業会を担う若手会の活動費支援：15 万円

ほくせい線工事現場視察



第 6 回家族親睦会～ BBQ 大会～



2019年度 事業計画

自 2019年4月 1日

至 2020年3月31日

基本方針

今年5月に新年号となる歴史的な年ですが、経済は長期化する米中の貿易摩擦などの影響で、世界的に後退傾向の見通しが強くなっています。

平成30年度末の3月25日、世界の景気を敏感に表すとされている日経平均株価は、今年最大の下げ幅の650円安となりました。

この要因は先週、米国で長期金利が短期金利を上回る長短逆転現象が起これ、これが、歴史的な事実にも照らすと、2005年、2008年では長短逆転後、1年から2年後に世界経済に大打撃を与えたITバブルの崩壊やリーマンショックなどが起こっており、投資家は景気後退のシグナルとしてリスクヘッジに動いたものとみられています。

国内経済を見ても、4月には働き方改革による人件費の負担増や10月には消費税増税への対応に加え、慢性化する人手不足、生産性の向上対策など、避けて通れない課題が山積し、今年度は特に先行きに明るさを感じないのが本音ではないでしょうか。

政府も景気後退はないとする強気な姿勢は崩さないものの、好景気を実感してない人が多くいると、初めて国民目線での発言がされたようです。

また、過去20年間の時給を見ると主要国で唯一マイナスとなった日本賃金水準の引き上げは、我が国の喫緊の課題となっており、低生産性の象徴とされる中小企業への改革の圧力は一段と強くなっていくことが予想されます。

こうした中であって、2019年度は、北工業会会員の共に学ぶ場や仲間づくりに向けた交流の活発化に務めるために、事業開始から5年目を迎え定着化したランチョンミーティングで、直面する課題に応じたテーマを選択し引き続き開催すると共に、大きな転換期に直面する中小企業の改革の一

助となるよう、今年度は特に横浜市や大企業、専門コンサルタント等との連携による会員企業の事業・新製品開発に挑戦していこうと考えています。今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

I 【 2019年度重点事業 】

1. 新規事業・製品開発の可能性の模索とプロジェクトの試行

2019年度予算額 40千円（産学異業種交流事業費）：会場費・講師交通費等

(1) 横浜市のIoTオープンイノベーション・パートナーズ(I・ToP)、横浜ライフイノベーションプラットフォーム(LIP 横浜)を活用した新事業・製品開発事業の試行

- ・大手システム開発企業と北工企業との共同開発
- ・中小企業の事業・製品開発への支援策の活用

(2) 事業開発のプロデューサーとの勉強会(可能性の検討：9月ランチョン)

- ・新規事業・新製品に関する企画／開発／生産／マーケティングを学ぶ機会をつくり、可能性を掘り起こす。

2. 会員企業との連絡方法の再構築

平成30年度に実施した会員企業への連絡方法及び窓口の調査は、概ね90社程度がメールでの連絡を望んでいますが、一方でファックスでの連絡も2／3近くが希望している結果となりました。

今年度は、指定された担当者の方あてにメール、ファックスをすることで、これまで以上に意思疎通を図ることができるようになると考えています。また連絡方法・窓口の確認の時期については、意見は分かれていましたが、毎年、会報配付時の2月下旬から3月上旬に行うこととします。

Ⅱ. 【 継続重点事業 】

1. ランチョンミーティングの開催：毎月第2水曜日

昼食を取りながらリラックスした中で、講師を交えた意見交換や議論を通じて、様々な課題について共に学び、見識を深める勉強の場として定着化し、昨年は予定の年間11回開催を要望により14回開催いたしました。

2019度も引き続き繁忙期を除き11回開催をしていきます。

2019年度予算額 277,500円 事業費：収入 247.5千円@ 1500 × 15人 × 11回 + 事業費@ 5,000円 × 6回)

会場：新横浜国際ホテル南館4階 午後12時半～午後3時

参加費：一人 1500円（食事代）

《2019年度開催予定：4月～7月までは開催済み》

●第1回 4月11日：【中小企業の支援策と活用を考える】

（説明者：横浜市経済局、信用保証協会、横浜企業経営支援財団 12名）

横浜市経済局ものづくり支援課

高柳課長、瀧澤係長、担当 千頭和さん

横浜市経済局 金融課 佐野係長

同 経営・創業支援課 関口係長

同 雇用労働課 野中係長、担当 渡辺さん

同 ライフイノベーション推進課 佐山係長

横浜企業経営支援財団

平野常務、川北マネージャー

横浜信用保証協会北部支所

内海所長、押部課長補佐

（参加企業名：16社）

ニッパ(株)、(株)遠藤製作所、(株)ホープデンキ

真空企業(株)、(株)シノザワ、(株)スリーハイ

グロースサポート社労士田邊事務所

(株)東都冶金、(株)オウミ、(株)イシイ精機

きらぼし銀行長津田支店、きらぼし銀行中山支店

トーレック(株)、一幸電子工業(株)、(有)アムライズ

栄高工業(株)



（参加者の感想）

平成31年度の横浜市の中小企業施策の方向性や支援策の活用を具体的にかつ行政及び融資の相談窓口である信用保証協会や企業活動を様々に支援する横浜企業支援財団のから直接話を聞き具体的な活用がイメージできたこと、また中小企業の現場の声及び支援策の要望等も伝える場としても有効と感じた。

●第2回 5月8日：【人材不足の時代に中小企業のできること。】

（参加者12社）

グロースサポート社労士田邊事務所

(株)ホープデンキ、(株)HNS、(株)オウミ

きらぼし銀行長津田支店、きらぼし銀行中山支店

横浜市民共済生活協同組合

横浜市経済局ものづくり支援課 瀧澤係長、担当岡田さん

（参加者の感想）

労働人口は10年単位で10%ずつ減少し、人手不足による倒産の可能性もある厳しい状況が予想されている。その中で、企業を存続させるためには、生産性の向上、多様な外国人材の受入れ、魅力ある職場づくりなどの課題に取り組まなければならない。国が進める働き方改革が、現実味を帯びて来た。

●5月21日(火)：神奈川法人会との合同研修【真田家14代当主に経営視点を学ぶ】

※北工業会は平成31年3月に開催、未受講の企業参加

●第3回 6月12日：【事業承継に備えるために
その1】

(説明者 2名)

きらぼし銀行コンサルティング事業部

小島 一樹 氏

同 霜村 純一 氏

(参加者 16社)

きらぼし銀行長津田支店、きらぼし銀行中山支店

横浜市民共済生活協同組合

グロースサポート社労士田邊事務所

山本公認会計士事務所、(株)ホープデンキ

(株)遠藤製作所、真空企業(株)、(株)エイト工業

栄高工業(株)、相互電機(株)

横浜市経済局ものづくり支援課 担当 岡田さん

経営・創業支援課 関口係長、担当 櫻沢さん

(参加者の感想)

親族後継者の有無、後継者選びの時期、経営に関する引き継ぎ内容、株式の承継個人資産の承継など、多岐にわたる事業承継問題に取り組んでいく手順が分かり、早期に着手していかなければならないことを認識した。しかし難問。



●7月10日：【戦力として外国人人材を雇用するために】

(説明者：2社 情報ベンチャー協同組合 甲斐東京事務所長、金子アドバイザー

(株)HNS 田中取締役)

(参加者 15社)

グロースサポート社労士田邊事務所

(株)ホープデンキ、栄高工業(株)、(株)オウミ

リコーテックビジョン(株)、(株)井上マテリアル

一幸電子工業(株)、認定NPOびーのびーの

木村キャリアコンサルタント、横浜市工業会連合会

横浜市経済局ものづくり支援課 担当 岡田

さん、菅原さん

(参加者の感想)

中小企業が、外国人を雇用する場合、正規の入国手続き、在留資格、雇用業種、生活環境、言葉の問題等々の課題と具体的な対応方法が理解できた。

中小企業が単独で雇用すること自体も大変難しく、また適材を雇用できるかということも簡単でないことが理解できた。



2. 北杜市企業交流会との交流 (第5回)：

10月18日(金)実施決定

今年で5年目を迎える北杜市企業との事業連携は、親近感が増し具体的な連携事業が討議されています。本年度は10月18日(金)に北杜市を訪問します。

2019年度予算 170千円：

収入 120千円 (15人×8千円) + 事業費 50千円

(予定) 北杜市企業視察後、意見交換

3. 慶応大学・横浜市・北工業会産官学連携：

5 年目

平成 27 年度から始まった慶応大学との産学連携事業は、再々延長となり 5 年目となり 5 年目を迎えます。この間、慶応大学の研究シーズと紹介や産学連携事業に参加する中で、具体的な共同研究や慶応大学が独自にこの協約を契機に、研究者と中小企業との連携を進めるために研究者に助成する制度を創設し、具体的な成果に結びつけるべく努めています。

2019 年度予算 10 千円（北工企業の勉強会 2 回開催@5 千円×2 回）

- ① 松本教授との産学連携による新事業開発の継続：J S T 助成金活用事業
- ② 慶応大学教授によるセミナー

4. HP の運営：年間通じて

2019 年度予算額 30 千円：技術的なサポート・アドバイス

北工からのお知らせ記事掲載

- ① 事業開催予定・開催結果概要、情報提供、会報
- ② 会員企業 P R ページとのリンク
- ③ 税理士、社労士、ファイナンシャルアドバイザー等専門家への相談紹介

5. 入会案内の改訂

新規事業や北工業会の直近の事業実績を紹介する内容に改定します。

2019 年度予算 0（当面は事務局自主作成とし、装丁が必要な場合は別途予算化）

II 既存事業：事業計画

1. 生産環境整備事業

地域経済の発展に寄与するため、神奈川県、横浜市をはじめ関係行政機関に対して企業経営や立地環境改善に関する意見・要望等を積極的に行い、会員企業の良好な生産環境の整備を進めてまいります。

- （1）2020 年度横浜市産業振興に関する要望（10

月実施予知）

北工要望：地域工業会の活動費の助成

- （2）中小企業支援策に関する助成制度や融資制度の拡充などをランチョンなどを通じて横浜市の理解を求める。
- （3）横浜北労働基準監督署・労働基準関係団体会議への参加
全国安全週間及び労働衛生週間横浜北地区推進大会の開催等
- （4）工場立地の改善整備
 - ア 共同住宅の建築に関する協定の実効性ある対策の要望
 - イ 会員企業の環境保全・省エネ活動に対する支援
- （5）域内 4 警察署との連携
外国人不法就労防止、サイバーテロ、イベントテロ対策、などを理事と協議

2. 産学異業種交流推進事業

市内の大学、研究機関等との交流を通じ、会員企業の新技術や新製品の開発促進を支援してまいります。また、友誼団体との連携を強化し、会員企業の受発注機会の拡大に取り組んでまいります。

- （1）産学交流の促進
 - ア 慶應義塾大学理工学部、横浜市との協定に基づく産官学連携の推進
 - イ 公益財団法人横浜企業経営支援財団経営支援部（産学連携課）との連携
 - ウ 桐蔭横浜大学大学院工学研究科及び東工大横浜ベンチャープラザとの連携
 - エ 域内大学との交流
- （2）異業種交流事業への対応
 - ア 一般社団法人横浜市工業会連合会の各種事業への参加
 - イ 法人会、横浜商工会議所北部支部・みどり支部との連携
 - ウ 工場等施設見学会の実施
 - エ 北杜市企業その他の団体との異業種交流の推進

3. 経営基盤強化事業

会員企業の経営基盤を強化するための中小企業が直面している事業承継、働き方改革、人手不足などの課題をテーマに毎月ランチョンミーティングを開催するとともに、会員企業の資金繰りを支援する中小企業融資制度の紹介や助成金等の情報を積極的に提供してまいります。

- (1) ランチョンミーティング・慶応大学との産学連携事業の推進
- (2) 工業見本市（テクニカルショウ）等への参加
- (3) 若手経営者・後継経営者が組織する「若手会」の育成強化
- (4) 行政機関及び関係団体との連携
 - ア 横浜市経済局ものづくり支援課・工業技術支援センター等との連携
 - イ 一般社団法人横浜市工業会連合会との連携
 - ウ 公益財団法人横浜企業経営支援財団との連携
 - エ 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構神奈川職業訓練支援センターとの連携
 - オ 公益財団法人神奈川産業振興センターとの連携
 - カ 公益財団法人神奈川科学技術アカデミーとの連携
 - キ 人材確保のための自衛隊神奈川援護懇話会との連携
 - ク NPO 法人産業クラスター研究会との連携
- (5) 融資・助成制度の紹介
 - ア 神奈川県、横浜市中小企業融資制度及び横浜商工会議所連携融資の紹介
 - イ 日本政策金融公庫、商工中金等各金融機関融資の紹介
 - ウ 各種助成金の紹介

4. 福利厚生事業

会員企業の発展と従業員の福祉の増進及び勤労意欲の向上に資するため、次の事業を推進してまいります。

- (1) 令和元年度横浜市優良工業事業所及び優良工業従事者表彰（市長表彰）並びに優良従業員

員会長表彰の開催（5月28日総会時に実施）

横浜市長表彰は、北工業会からは工業団体役員としてのご功績が認められた4名の理事、市内優良企業として4社、市内優良工業従事者としては過去に会長表彰を受けられた従業員の方の中から、その後も企業に貢献された従業員1名の方が、それぞれの部門で受賞されました。

また横浜北工業会会長表彰は、選考委員会で日頃のご努力、ご功績が評価され、7社14人の従業員の方々が受賞されました。

《令和元年度横浜市工業団体役員・優良工業所・従事者被表彰者》

1. 横浜市工業団体役員（4名）

（敬称略：役員歴10年）

氏名	企業名	役職
水口 正夫	(株)エイト工業	顧問
荻野 伸夫	相互電機(株)	代表取締役
向後 英夫	(株)遠藤製作所	代表取締役
宮本 四洲雄	宝電機工業(株)	取締役

2. 横浜市優良工業事業所（4社）

（永年会員企業：会員歴30年）

事業所名	入会年月
(株)時久組	1988年5月
(有)京浜硬質クローム	1988年8月
(株)岸田	1989年3月
(株)ブラザーオートサービス	1989年3月

3. 横浜市優良工業従事者（1名）

（敬称略：勤続20年以上かつ会長表彰受賞者）

被表彰者名	企業名	勤続年数
小林 弓美	(株)互省製作所	27

《令和元年度横浜北工業会優良従業員被表彰者》

優良従業員会長表彰（14名）

（順不同・敬称略：勤続年数10年以上）

被表彰者名	企業名	勤続年数
藤森 武	ニッパ(株)	17
山田 英和	〃	20
桑原 純	(株)互省製作所	31
大塚 一人	〃	23
小島 照雄	〃	20
顧 元	東京プロト(株)	12
濱田 幸子	第一カーボン(株)	23
朝倉 康	〃	10
加藤 真	アジア物性材料(株)	19
横山 洋子	フジッコ(株)横浜工場	15
高野 ひろみ	〃	15
青柳 杏子	〃	15
谷内 勝則	一幸電子工業(株)	35
内山 宜之	〃	14

謝辞：受賞者代表



祝辞：横浜市長経済局長



被表彰者集合写真



（2）定期健康診断・成人病検診等の促進

横浜新緑総合病院、横浜鶴ヶ峰病院の協力による従業員の定期健康診断及び成人病検診の促進

（3）従業員親睦ボウリング大会の開催（10月25日（金）実施予定）

（4）神奈川県労働局との連携による「働き甲斐のある職場づくり」等の推進

（5）会員企業に対する労務・税務等の問題の解決のための相談体制
昨年度整備した相談体制をHPで紹介し会員のセーフティーネットとしての活用を促進する。

- ① 企業の就業規則等労務問題、個人の老後計画・年金問題：山口社会保険労務士事務所、グロースサポート田邊社労士事務所
- ② 特許出願代理事務：黒田国際特許事務所
- ③ 法人税・消費税・相続税等全般：酒井公認会計士・税理士事務所
- ④ ファイナンシャルプラン、老後の生活計画：(株)ハーバーウェルスマネジメント

5. 会員交流事業

会員増強運動の推進により組織の拡大と財政基盤の安定化を図ってまいります。また、支部活動を通じて会員相互の交流を促進し、受発注の拡大に繋がるような事業を推進してまいります。

（1）会員サービスの促進

ア 会員企業の取引の拡大（ホームページの活用・テクニカルショウへの参加）

イ 経営情報、知識獲得の場の充実（ホームページの活用・勉強の場の充実）

ウ 会員企業従業員の福利厚生

- ① 表彰事業の実施（再掲）
- ② サービス企業ネットワークの構築（継続検討）
- ③ 定期健康診断等の促進

（2）専門委員会活動の充実

副会長が委員長となり、理事を委員として組織され、決算、事業の中間振り返り、新年度

事業・予算などの節目の時に開催し、活性化に向け議論をしている。

(3) 会員交流の推進

ア 新年賀詞交歓会及び通常総会後の懇親会の開催（令和2年1月及び5月開催）

《第59回通常総会懇親会・表彰者祝賀会》

令和元年5月28日、第59回通常総会終了後に開催された、横浜市長表彰並びに横浜北工業会会長表彰祝賀会を兼ねた懇親会には、官公庁、国会・県会・市会の議員、友誼団体の方にご出席をいただき総勢160名を超える盛会の中、開催されました。

被表彰者の紹介



乾杯：小出青葉区長



イ 新会員と役員との懇談会の開催（3月実施）

ウ 会員親睦ゴルフ会の開催（11月6日（水）実施予定）

(4) 広報活動の推進

ア 会報の発行（年2回：2月、8月）

イ 「よこはま市工連」会報・かわらばん等の配付

ウ 各種行政機関情報誌の配付

エ 中小企業諸施策に関する情報提供

(5) 支部活動の活発化（当面は）

(6) 会員増強運動の推進

(7) 若手会の支援・連携強化

6. 地域諸施策支援事業（年間通じて）

一般社団法人への移行に伴う公益目的事業として地域社会の発展に貢献するため、区役所などの行政機関や各種地域団体等が実施する事業への参加協力を積極的に行ってまいります。

(1) 域内各区の各種会議・行事への参加

(2) 域内各区の体育協会等への協力

(3) 地域友誼団体の行事等への参加

具体的な実施内容としては、①神奈川労働局への「雇用均等行政推進員」の派遣、②横浜北労働基準監督署の「労働基準関係団体会議」への参画 ③陸上自衛隊神奈川援護懇話会への協力 ④域内各区の各種委員会・協議会のほか各種行事への参加協力、⑤域内各区の体育協会等への参加協力、⑥域内各区のごみの減量化、地球温暖化対策等への参加協力、⑦地域諸団体が実施する行事等への参加協力、⑧その他会費・協賛金等による協力などにより、地域経済の振興と地域社会への貢献に努めてまいります。

若手会のページ

横浜北工業会若手会第 35 回総会

令和元年6月28日（金）、花いおりにて第35回若手会通常総会及び懇親会を実施致しました。第一号議案にて平成30年度の事業報告、第二号議案では平成30年度決算会計報告及び会計監査報告、第三号議案では、令和元年度の事業計画、第四議案では、令和元年度収支予算案を報告し全て可決されました。

総会後に懇親会が開催され、株式会社相互電機の荻野会長の開会の挨拶の後、有限会社動夢計画の九鬼氏による乾杯のご発声で懇親会がスタート致しました。旬のお料理と美味しいお酒を堪能しつつ、日頃の悩みや意見交換など、ひざを突き合わせて語らい笑顔と笑い声の絶えない貴重な時間を仲間達と共有致しました。

懇親会半ばでは今後の若手会の仲間になりうるオブザーバーとしてご参加頂きました、AIG 損保株式会社の笹木氏、フィリップモリスジャパン合同会社の久米田氏、横浜信用金庫の松尾氏にスピーチして頂きました。

前会長の株式会社ティエスエスの田中氏に中締めして頂き盛会のうちにお開きとなりました。

今後も荻野新会長を中心に更に魅力ある企画・運営をし、活気ある若手会となるよう邁進致します。

（田島精研 田島
2019.8.）



会員状況

1. 会員数の推移

平成31年3月31日現在	会員数合計	213社（前年同期比 2社減：4社増6社減）
令和 1年8月 1日現在	会員数合計	223社（前年度末比 10社増）

2. 平成31年4月～令和1年8月入会企業 10社

(1) 平成31年4月 入会企業（3社）

（敬称略）

企業名	所在地	代表者	氏名	営業品目	入会年月	紹介者
(株)きらぼし銀行中山支店	緑区中山1-23-23	支店長	辻 秀樹	金融業	H31.04	事務局
横浜市民共済生活協同組合 中山普及サービスセンター	緑区中山1-8-17	所長	今関 篤	火災共済事業	H31.04	事務局
リコーテックビジョン(株)	港北区新横浜3-2-3	代表取締役	菅沼 一男	食品製造・加工向け 検査装置	H31.04	事務局

(2) 令和1年5月 入会企業（1社）

（敬称略）

企業名	所在地	代表者	氏名	営業品目	入会年月	紹介者
情報ベンチャー協同組合	東京都中央区新富 2-7-4	代表理事	菱川 照章	外国人材紹介、 高速料金精算事業	R1.05	事務局

(3) 令和1年6月 入会会員（1社）

（敬称略）

企業名	所在地	代表者	氏名	営業品目	入会年月	紹介者
AIG 損害保険(株)	港北区新横浜2-4-19		笹木 脩平	保険業	R1.06	日生自動車

(4) 令和1年7月 入会企業（3社）

（敬称略）

企業名	所在地	代表者	氏名	営業品目	入会年月	紹介者
横浜信用金庫 高田支店	港北区高田西 1-12-25	支店長	塚越 貴浩	金融業	R1.07	動夢計画
(株)マルシンコマース	港北区樽町3-6-47	代表取締役	水柿 敏雄	自動車整備	R1.07	東京プロト
(有)東和精器	港北区日吉7-22-57	代表取締役	西山 レン	金型加工全般	R1.07	事務局

(5) 令和1年8月 入会企業（2社）

（敬称略）

企業名	所在地	代表者	氏名	営業品目	入会年月	紹介者
古川電気工業(株)	港北区新羽町 3752-2	代表取締役	古川 豊	精密板金、精密プレス	R1.08	中越工業
(株)コードダイナミクス	港北区新横浜2-5-2	代表取締役	中村 好伸	ウェブシステム・ 各種業務用アプリ開発	R1.08	事務局

3. 平成30年度入会企業 4社増

（敬称略）

(1) 平成30年4月 入会企業（2社） ①内田憲宏法律事務所（中区太田町）②グロースサポート社労士事務所（港北区新横浜）

(2) 平成30年10月 入会企業（1社） (株)HNS（港北区新横浜）

(3) 平成31年2月 入会会員（1社） フィリップモリスジャパン(株)（港北区新横浜）

4. 平成30年度退会企業 6社減

（敬称略）

○平成30年9月30日退会企業（3社） ①(株)ミカミ（青葉区荏田町）②(株)ダイナプラス（港北区新横浜）

③内田憲宏法律事務所（中区太田町）

○平成31年3月31日退会企業（3社） ①(株)ガリバー（神奈川区荏田町新浦島）②富士通化成(株)（都筑区川和町）

③(株)日伸（都筑区牛久保東）

5. 会員企業情報

（敬称略）

企業名	変更項目：内容
シュリーマン(株)	代表者就任：(新任) 代表取締役 安重 勇
(株)山 王	代表者就任：(新任) 代表取締役社長 三浦 尚
エピロックジャパン(株)	代表者就任：(新任) 代表取締役 北岡 太平
横浜高周波工業(株)	代表者就任：(新任) 代表取締役社長 関 朋子
(株)静岡銀行中山支店	支店長異動：(新任) 宮地 基幸
城南信用金庫綱島支店	支店長異動：(新任) 佐藤 岳道
(株)横浜銀行中山支店	支店長異動：(新任) 安田 有利
フジッコ(株)横浜工場	工場長異動：(新任) 新発田 啓

◎ 不法滞在外国人の不法就労防止にご協力下さい

平成31年1月現在、国内の不法滞在者は74,167人で、犯罪インフラの一部と言われています。その不法滞在者が働いていたり、適法に滞在していても出入国在留管理局から働く許可を受けずに働いている者や、同局から認められた範囲を超えて就労している者がいます。

不法就労は法律で禁止されており、不法就労した外国人だけでなく、不法就労をさせた事業主も処罰の対象になります。

平成24年7月9日から、日本に中長期間在留する外国人を対象とした「新しい在留管理制度」が導入され、**外国人を雇用する際の確認方法がこれまでと変わり不法就労助長罪も見直されました。**

外国人を雇用する際は次の内容をよく確認し、不法就労助長罪を問われないよう注意してください。

* 不法就労となるのは、次の3つの場合です。

- 1 不法滞在者が働くケース
- 2 入国管理局から働く許可を受けていないのに働くケース
- 3 入国管理局から認められた範囲を超えて働くケース

確認を怠ると・・・

3年以下の懲役、300万円以下の罰金を科せられるとがあります。

●参照 * 平成28年4月、政府は、人口減少社会でも経済発展を持続させる目的で「外国人就労拡大(単純労働者・在留期間は当面5年間)」。

* 平成30年 訪日客・約3,120万人(前年同期比8.7%増)

(政府は、平成32年に4000万人の訪日客を目指しています。)

◎ 東京オリンピック・パラリンピック競技大会警備に向けて

今年は「ラグビーワールドカップ2019」、来年は「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」が国内で開催されます。

しかし、今年の4月21日、スリランカの最大都市コロンボをはじめとした8か所で、過激派イスラム組織による同時多発爆弾事件が発生し258人が死亡。また、昨年11月9日、オーストラリアのメルボルンでは、男が通行人を刃物で次々と刺す事件が発生し、1人が死亡、2人が負傷しており、過激派組織「イスラム国」が犯行声明を出しています。

現在、県警察ではソフトターゲット(不特定多数の人が集まるコンサート会場、競技場、レストランなど)に対する警戒警備を実施し、テロ等に使用されるおそれのある爆発物の原料となる薬品(指定11品目)を取り扱っている企業、薬局、ホームセンター及び教育機関等に対して、引き続き管理の徹底、不審購入者の通報等をお願いしています。

* 爆発物の原料となる指定11品目



硫酸、塩酸、過酸化水素、硝酸、塩素酸カリウム
塩素酸ナトリウム、尿素、硝酸アンモニウム、
アセトン、ヘキサミン、硝酸カリウム



◎ 振り込め詐欺にご注意を!!

振り込め詐欺が多発し、本県では平成30年中、2,604件もの振り込め詐欺等が発生し、被害額は58億9,200万円にものぼります。県警察では、「サギ撲滅の2本柱」というポスターを作成し注意を呼び掛けています。

サギ撲滅の2本柱

- 1 こんな言葉を電話で聞いたらサギだ!
「急にお金が必要!用意して!」
「キャッシュカードを預かります。」
「ATMで医療費を還付します。」
- 2 留守番電話設定のお願い
「犯人は留守番電話を嫌います。」
「常に留守番電話設定を!」
「留守番電話が作動する前に取らないで」
「迷惑電話防止機能付き機器の購入検討を!」



● 電話で「お金・キャッシュカード・ATM・暗証番号」と言ったら「詐欺」です!!

(一社) 横浜北工業会外国人不法就労等防止対策連絡協議会

546-0110
港北警察署

949-0110
都筑警察署

932-0110
緑警察署

972-0110
青葉警察署

山海楼グループは継続的震災復興を応援します！

毎日新鮮な牡蠣・魚貝類産地より直送



山海楼グループ

浜の 牡蠣 小屋



浜の牡蠣小屋

料中
理国

山海楼

関内1号店

横浜市中区蓬莱町1-1-7
TEL : 045-262-9855

新横浜店

横浜市港北区新横浜2-7-17
TEL : 045-470-8837

関内2号店

横浜市中区尾上町3-44
TEL : 045-680-6008

東神奈川本店

横浜市神奈川区西神奈川1-19-14
マックスタワー1F~3F
TEL : 045-434-7678

新横浜店

横浜市港北区新横浜2-7-17
TEL : 045-594-8691

御徒町店

東京都台東区台東4-28-2メゾンドK1F
TEL : 03-3834-9211

東神奈川店

横浜市神奈川区西神奈川1-19-14
マックスタワー2F
TEL : 045-834-8538

株式会社 新世紀商事

横浜市神奈川区西神奈川1-19-14 マックスタワー8F

TEL : 045-834-8786

FAX : 045-834-8782

<http://www.sankairou.jp>